

いわき市農業委員会第21回農政振興部会議事録

1 開催日時

平成29年5月19日（金）13時から14時

2 開催場所

いわき市役所東分庁舎5階 会議室

3 出席者（23人）

(1) いわき市農業委員会農政振興部会（20人）

部会長 4番 渡邊 和夫

部会長職務代理者 1番 根内 一彰

委員

2番 阿部 浩二

12番 根本 俊男

19番 鈴木 理

20番 佐藤 哲男

5番 藁谷 昭夫

21番 佐藤 吉行

6番 吉田 忠夫

14番 瀬谷 弘

22番 赤津 正身

7番 松本 英人

15番 油座 勝三

8番 愛川 卓司

16番 猪狩 和一

24番 (欠員)

9番 赤津 弘恭

17番 木田 幸男

25番 小川 智

10番 田山 一郎

18番 渡邊 雄八

(2) 事務局（3人）

黒川 政彦 事務局長

野木 隆司 農政振興係長

小川 誉史 農政振興係 主査

4 欠席者（4人）

3番 三戸 進

11番 木田テイ子

13番 和田 正人

23番 小泉 昌男

5 会議の概要

渡邊部会長 (議長)	<p>ご案内の時間となりましたので、只今より、第21回農政振興部会を開催致します。</p> <p>本日の通告欠席は、</p> <p>議席番号 3番 三戸 進 委員 11番 木田 テイ子 委員 13番 和田 正人 委員 23番 小泉 昌男 委員 以上4名でございます。</p> <p>只今、24名中20名が出席しており、本日の部会が成立しましたことをご報告申し上げます。</p> <p>次に、議事録署名人の指名であります。署名人2名を議長が指名することにご異議ございませんか。</p>
委 員	<p>－異議無し－</p>
渡邊部会長 (議長)	<p>ご異議が無いようでありますので、指名致します。</p> <p>議席番号 22番 赤津 正身 委員 25番 小川 智 委員 以上2名を指名致します。</p> <p>続きまして、前回開催されました農地部会の報告を求めます。</p>
事務局 (黒川局長)	<p>それでは事務局より、去る平成29年4月20日に開催されました第22回農地部会におきます審議結果についてご報告いたします。</p> <p>参考資料①をご覧ください。</p> <p>議案第1号 農地法第3条許可申請につきましては、8件、計29,584.11㎡について許可してございます。</p> <p>議案第2号 農地法第4条許可申請につきましては、1件、340㎡について許可してございます。</p> <p>議案第3号 農地法第5条許可申請につきましては、5件、計4,768.98㎡について許可してございます。</p> <p>議案第4号 いわき市農用地利用集積計画につきましては、52件、計288,562㎡について決定してございます。</p> <p>議案第5号 農地中間管理事業に係る農用地利用配分計画(案)については、県知事許可の各要件を満たしていると考えます。との意見を付しております。</p> <p>次に、報告第1号から報告第4号につきましては、記載のとおり事務局長専決としてございます。</p> <p>なお、県許可に該当する案件はございませんでした。</p> <p>以上でございます。</p>

渡邊部会長
(議長)

ありがとうございました。それでは議事に入ります。
農地等の利用の最適化の推進に関する意見等について、事務局より説明願います。

事務局
(小川主査)

お配りしています資料1をご覧ください。
こちらは、去る3月総会において5月10日を期限として全農業委員さんに依頼しました、農地等の利用の最適化の推進に関する意見の取りまとめ結果になります。

20名の委員さんから提出いただきましたものを、そのまま記載させていただいています。

こちらを全てご紹介するのは時間の関係上難しいので、整理しました資料2をご覧ください。

(資料2読み上げ説明)

3月の総会において、意見(案)の作成について農政振興部会に付託するとした際に、平成29年度意見については、前年度意見を踏襲し、時点修正や意見内容の掘り下げを基本とすることとして整理されており、ただいま紹介しました項目についても、概ね昨年度意見として整理した内容と同様でありますことから、事務局としましては、意見(案)は昨年度の内容を基本として調整・整理したいと考えております。

一方で、ただいま紹介しました意見のうち、より具体的な意見をいただきたいと思います5項目について、資料3に記載させていただきましたので、本日は農業委員さん同士の自由な意見交換というかたちで議論を深めていただき、その内容を事務局で抽出・整理したいと考えております。

事務局からの説明はここで一度区切らせていただきます。

渡邊部会長
(議長)

ただいまの説明について、意見・質問等はありませんか。
特にないようですので、引き続き事務局より資料3各項目について説明願います。

事務局
(小川主査)

一つ目としまして、農地集積のメリット・デメリットと地域の実情に応じた標準的な営農モデルについて、ご議論いただきたいと思います。

こちら、メリットとしましては、主だったものとして作業効率の向上などが、デメリットとしては機械の大型化による投資規模の増大などが考えられると思いますが、具体的な事例や意見等をいただきたいと思います。

事務局 (小川主査)	<p>また、いわき市における標準的な営農モデルにつきましては、参考として、資料4に認定農業者の認定基準などを定めた農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想から経営類型を抜粋したものを記載してございます。各営農類型の標準的な収益などは示されておりませんが、参考となる資料としまして、各市町村が策定した基本構想を県が審査する際などの基礎資料として整理したものを資料5としてお配りしていますが、こちらは部会終了後に回収させていただきます。</p> <p>こちらは、水稻（移植）をはじめ、いわき市における営農類型9件について、10a単位の収益を単純化して示したものになります。</p> <p>これらの資料を呼び水としまして、様々なご意見をいただければと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
渡邊部会長 (議長)	<p>それでは、農地集積のメリット・デメリットと地域の実情に応じた標準的な営農モデルについて、意見・質問等はございませんか。</p>
10番 田山委員	<p>資料5の10aモデル表の圃場は基盤整備がされているものとの前提なのでしょうか？</p>
事務局 (小川主査)	<p>前提条件の内容に具体的な圃場規模は記載されておりませんが、農業用機械を使用する内容で記載されていることから、一定水準の整備がされている前提であり、また全体としていわき市の実情に合致した内容に集約されていますので、相応の規模の圃場を想定しているものと考えられます。</p>
16番 猪狩委員	<p>農地集積のメリットについてですが、今まさに私の地元大久では担い手育成型基盤整備事業ということで集積が進められているところですが、全体の25%以上が1枚1町歩以上になるようにとのことで、実際そのとおり進めているところです。</p> <p>担い手がこのままずっと頑張っていけるならばいいのですが、1枚あたりがとても大きくて、均平などはとても出来ないといった問題もあります。</p> <p>一度大規模化した圃場をその後細分化したなどの事例はあるのでしょうか。</p>
事務局 (小川主査)	<p>補助事業等であれば、一般的にその事業目的を達成するために公金が投入される訳ですから、無条件でそのような事例は認められないのではないかとと思いますが、事務局でも改めて確認してみます。</p>

7番
松本委員 事例の紹介ですが、以前千葉の方に視察に行った際に1町歩の圃場を見てきたのですが、1枚当たりの面積が大きいと風で波打ってしまい、植栽苗が浮いてしまうようで、ほどほどの面積にしないとそういった被害もあるとのこと、風が強い地域では圃場を大きくするのも考えものかなと思います。

渡邊部会長
(議長) 私も視察研修で似たような話を聞いたことがありますが、なかなか大変みたいですね。

圃場の大規模化、作業効率の向上、たしかにメリットは大きいですが、当然その分お金もかかります。

どの程度収益を見込んで、どの程度の規模を目指すのか、その見極めが大事なのかなと思います。

16番
猪狩委員 均平を考えれば圃場は小さい方がいいですよ。
大きくては均平にならない。

5番
藁谷委員 一度やれば大きい圃場がいいですよ。
たしかに浮き苗の心配はついて回るけど、コンバインの時期とか、1町歩まとめて出来るのはいいですよ。

21番
佐藤委員 私の地元で手広くやっている方が、直播を3年度ほど前から始めてかなり成果を上げているようです。

均平の話も出たので直播ってどうなのかな、もう少し勉強しなくちゃならないのかなと思ったところです。

渡邊部会長
(議長) 直播で一番の問題は雑草ですね。

16番
猪狩委員 それと休んでいる間の圃場の管理ですね。

21番
佐藤委員 そのようですね。なので、一番いいかたちのモデルをしっかり固めないと難しいですよ。

あと、倒伏には弱いので丈の伸びる品種は向かないとも聞きました。

5番
藁谷委員 私は3町歩ほど直播をやっていますが、特に倒伏に弱いということはないです。それは水管理の問題かなと思います。

渡邊部会長
(議長) 雑草は大丈夫ですか？

5番
藁谷委員 鉄コーティングで3年やりましたが、そのときは駄目でした。
雑草よりも直播は鴨が入れば駄目、入らなければ大丈夫。

渡邊部会長
(議長) 近所でやった方は、雑草で稲がどこかだか分からなくなって、もう二度とやらないって言っていましたね。
水管理が独特で凄く難しいみたいです。
直播に興味のある方は、藁谷委員が3町歩やっているそうなので、直接お話を聞いてみてください。
ほかに意見はないようですが、農地集積のメリット・デメリットについては、私の意見としては、やはり金銭的負担が大きいということになるかと思えます。
それでは次の項目に移ります。事務局から説明願います。

事務局
(小川主査) 二点目は、大型農業用機械のリース事業体についてです。
以前より大型農業用機械のリース事業についての要望・ご意見はございました。
後継者不足による離農の問題や経営規模拡大に関連しまして、そのような事業があれば、離農の抑制や経営規模拡大の推進に寄与するものと考えられますので、実際に市内で事業体とまではいかなくてもどのようなリース形式があるのか、その需要や効果の大小、また事業の主体として期待されるのはどこになるのかなどをご議論いただきたいと思います。

渡邊部会長
(議長) 事務局に確認ですが、リース事業体とはどのようなものになりますか。

事務局
(小川主査) 例えば農協や集落営農型の任意の団体等が大型農業用機械等を購入・整備し、組合員等がその利用料を支払い、その収益等で運営される事業体などが想定されますが、委員の皆様を通じて要望を寄せられる大型農業用機械のリース事業とは、実際にどのような在り方が望まれているのか、そのかたちを把握したいとの趣旨で項目として挙げさせていただきました。

渡邊部会長
(議長) それでは、大型農業用機械のリース事業体について、意見・質問等はございませんか。

18番
渡邊委員

私の地元の方の事例紹介になりますが、富山からコンバインを一定期間リースして、刈り取りが終わったら返却するそうです。日常的な点検・整備は自分でやっているみたいですが、毎年業者の方でしっかり整備した状態で借りられるので、だいぶ具合がいいそうですね。

購入して自分で整備したり、資金を集めて減価償却のことを考えると、一定期間リースで賄う方がメリットが大きいということみたいですね。

詳細は聞いていないのですが、そのような事例があります。

リース事業体としての話になりますと、利用者の需要に応えられるだけの投資が必要になる訳ですから、なかなか難しいのかなと思います。例えば北陸系統ですと、収穫時期が異なったりしますので、時期をずらして貸し出すことが出来ますので、必要最小限の設備投資でも可能なのかなと思います。

ただ、このような事業は農機メーカーや大きな卸業者でないと現実的には難しいと思います。

農協でも昔はそのような話があったようで、何度か試みたようですが、維持管理の問題とかもあって取り組めなかったという話みたいですね。

7番
松本委員

これは、国の事業を利用した1/2補助のリース事業のことなんですか？

事務局
(小川主査)

こちらについては、具体的な事業活用等を想定して議論をお願いしているものではありません。今回意見としていただいたなかで、また以前より要望等を寄せられていることから、実際にどのような在り方が望まれているのかを議論を通じて把握したいとの趣旨でございますので、現時点において具体的な事業構築等を想定しているものではありません。

10番
田山委員

リース事業については、需要も効果もあると思うのですが、需要時期が重なったときに、どれだけ対応出来るのかということだと思うのですよね。例えば向こう三軒両隣で共同購入するときなんか、使う時期や順番の調整が難しい。そのあたりをどうするのかということが課題になるでしょうね。

19番
鈴木委員

ここでこういうことを言うべきではないのですが、こういう議論の場で、農業委員として考えるということなので敢えて申し上げますと、私が農協の役員をしていた際に、このような事業につい

19番
鈴木委員

て積極的に進めていただかないと困るとの意見を申し上げていた訳でございますが、ある役員から出た意見は、農協の経営実態というものは、金融とかいわゆる共済事業で賄っていて、営農部門を補填することで農協としての収益のバランスをとっているとのことで、営農部門に過大と思われる投資をしていいものかとの意見でありました。

その後も収益性の問題などを踏まえ、慎重に議論を重ねているものと推測はされます。

渡邊部会長
(議長)

リース事業の捉え方によって議論の方向が色々変わってしまうと思います。個人で借りるケース、メーカーから借りるケース、農協が購入した機械を組合員が利用するケース、リース事業で購入するケース、色々考えられると思います。

5番
藁谷委員

実際に進んでいるのは購入方式ですね。

19番
鈴木委員

私が農協で申し上げていたのは、農業用機械を貸し付けるだけではなくて、オペレーター付きで、稲刈り事業を請け負う、そして農協の退職組の方々を含めて、申し訳ないけれども1日1万円くらいの手当てで稲刈り事業というものに入ってくれ、でない、機械だけを貸し付けるようでは、事業としては色々難しいのではないのかなといったことです。

渡邊部会長
(議長)

実際、アメリカや中国では、全国を回って刈り取る事業が定着していますね。

ところで、事務局としてはリース事業の定義をどのように捉えているのでしょうか。

事務局
(小川主査)

事務局としては、具体的にこのようなといったことは想定しておらず、今回、また以前より要望や意見として提出いただいている「農業用機械のリース事業」について、農業委員の皆様がどのような在り方を考え、要望しているのかを整理し、把握するため、今回このような議論の場を設けさせていただいています。

今まさに議論いただいている内容を通じ、いわき市の農業者の声として、求められるリース事業のかたちの整理を進めていただくことが望ましいと考えております。

渡邊部会長
(議長)

個人でというのは中々難しいと思いますので、そこはやはり農協あたりが機械を貸付けする、そういったリース事業にもっていくのがいいと思いますね。

16番
猪狩委員

実際に川内村で取り組まれていた事例では、リース事業になるのかは分かりませんが、農協の職員とかがオペレーターとして行っていました。

機械の貸付けとなると、壊れたときの責任問題とか色々あって、実際には難しい訳で、オペレーター付きでやっていました。

事務局
(黒川局長)

ただいまの議論以外も含めて全体の話になりますが、事務局としては、以前の建議から意見が変わり、また農業委員会の事業の柱が、より具体的に農地の集約化とか流動化とか、受け手貸し手の体制整備とかになり、それを踏まえた意見書を農業委員会として昨年度から作成する、そういったなかで、今後推進委員さんを設置するうえで、より具体的な意見・要望を行う必要があります。

皆さんからいただいた意見のなかにリース事業を考えてくれという意見・要望が項目として挙がってきておりますので、では、そのリース事業について、今まさに議論いただいているように、どのようなリース事業が、いわき市で、みなさんが行政に支援して欲しいのか、例えばJAにやって欲しいのか、他市の具体的な事例を参考に、いわき市でもやって欲しいということなのか、農機具メーカーがいわき市で事業展開できるような拠点の整備を進めて欲しいということなのか、昔よくあった、仲間内で共同購入する際の資金の助成制度を整備して欲しいのか、その具体的な中身を整理したうえで、こういうことをして欲しい、必要だといった意見書に仕上げてきたい、ということで、今回リース事業を議論の項目にあげており、じゃ実際皆さんはどのようなリース事業を望んでいるのですか？ということ、議論を通じて整理したいということでございます。

ですので、まずは皆さんの現状や実際に求められている内容などを、いったん議論の場に出していただければと思います。

この項目に限らずですが、そのような整理を進めたうえで、最終的に項目を絞った意見書にしていきたいと考えております。

15番
油座委員

参考になればということで、以前各方部に普及所があった時代に、県の方でホイールトラクターの貸し出しをして、基盤整備したばかりの頃は私も自分でトラクターを持ってなくて、利用したことがあります。そういったノウハウが県にはあるはずなので、参考に見るのもいいと思います。

渡邊部会長 (議長)	時間の関係もありますので、本日の議論はここまでとします。 資料3の2番までということで、次回の農政振興部会で続きを行 いたいと思います。 次に、その他について、なにかございますか。
事務局 (小川主査)	本日は時間の関係もあり、議論が途中になってしまいましたが、 意見の作成については、大枠としましては、時点修正のうえで昨年 度の内容を踏襲することとして整理させていただき、それはそれと して、本日ご議論いただきました内容については、農業委員会とし て整理を進めるため、引き続き議論を重ねていただきと思います。
渡邊部会長 (議長)	ほかに無いようですので、これをもちまして、第21回農政振興部 会を閉会します。(午後2時)